



安全管理委員会からの耳より情報 VOL. 9



重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について知っていますか？

《SFTS とは》ダニ媒介性の新しい感染症で、SFTS ウイルスを有するマダニに咬まれることにより感染すると考えられていますが、最近では SFTS ウイルスに感染し発症している野生動物やネコ・イヌなどの血液や体液に直接接触した場合に感染することも否定できないという研究結果があります。SFTS の潜伏期間はマダニに咬まれて 6 日～2 週間程度とされており、主な初期症状は発熱、全身倦怠感、消化器症状で重症化し、死亡することもあります。SFTS に対して有効な抗ウイルス薬等の特異的な治療法はなく、対症療法が主体になります。2016 年には西日本を中心に 21 府県で発症が確認されています。

《SFTS ウイルスに感染しないためには…》

マダニに咬まれないように気を付けることが重要です。マダニは主に森林や草地等の屋外に生息しており、春から秋に活発に活動します。

《屋外活動時、マダニに刺されないための注意事項》

- ①長そで・長ズボン・帽子・手袋を着用し、肌の露出を少なくすること。
- ②虫よけ剤も補助的な効果があるので、用法をよく読んで使用する。
- ③屋外活動の後はすぐに入浴し、マダニに刺されていないか確認する。(衣服に付いてから皮膚を刺すまでには時間がかかるため)特に首・耳・わきの下・足の付け根・手首・膝の裏などがポイントです。

マダニの多くは人や動物に取りつくと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間(数日から長いものは 10 日以上)吸血しますが、咬まれたことに気が付かない場合も多くあります。吸血中のマダニに気が付いた際は無理に引き抜こうとせず医療機関(皮膚科)で処置をしてもらってください。



[出典・参考資料]

『マダニ対策、今できること』 国立感染症研究所昆虫医科学部ホームページ

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287ent/3964-madanitaisaku.html>

SFTS 対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所 T e l : 03-5285-1111 (代表)

厚生労働省健康局結核感染症課 T e l : 03-5253-1111 (代表)

平成 30 年 10 月
安全管理委員会